

県内景況、原材料・燃料等高騰続き厳しい状況

コロナ禍に加え、円安、ウクライナ情勢等の影響深刻化

～景況DI値は、前年同月比18.5ポイント上昇のマイナス15.7～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 4月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比57.8ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比同水準のマイナス31.6。非製造業では、前月比42.0ポイント低下のプラス10.6、前年同月比47.4ポイント上昇のプラス26.3。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比同水準のプラス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のプラス21.1。非製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比10.6ポイント上昇のプラス31.6。

収益状況 製造業では、DI値前月比26.3ポイント低下のマイナス42.1、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス42.1。非製造業では、前月比63.1ポイント低下のマイナス5.2、前年同月比52.6ポイント上昇のプラス15.7。

資金繰り 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比5.8ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比26.3ポイント上昇のプラスマイナス0。

雇用人員 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス10.5。非製造業では、前月比10.6ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比26.4ポイント上昇のプラス10.6。

景況 製造業では、DI値前月比5.3ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス21.0。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比26.4ポイント上昇のマイナス10.5。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比5.4ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比18.5ポイント上昇のマイナス15.7となった。製造業の一般食料品、木材・木製品、生コン、金属製品関連など多くの業種で原材料価格や燃料等の値上がりが続いており厳しい状況。非製造業では、商店街、小売業等ではコロナ禍による消費マインドの低下は依然として改善されていないが、旅館・観光関係を中心に、まん延防止等重点措置の解除もあり、売上、収益状況ともに前年同月比で持ち直しの動きとなった。運輸業では、依然として燃料価格の高値で推移しており経営を圧迫している。県内景況は、コロナ禍に加え、円安やウクライナ情勢等の影響が深刻化するなか、原材料や燃料等高騰に伴う経費増が収益を圧迫するなど厳しい状況が続いており、先行きについても懸念材料が多く、改善の兆しは見られない。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

4月の全国倒産は、件数487件で、11カ月連続の前年同月比減少となった。負債総額は720億1,700万円（負債総額1,000万円以上）で、3カ月ぶりの前年同月比減少となった。不況型倒産の構成比は75.4%、4月としては15年ぶりの低水準となった。

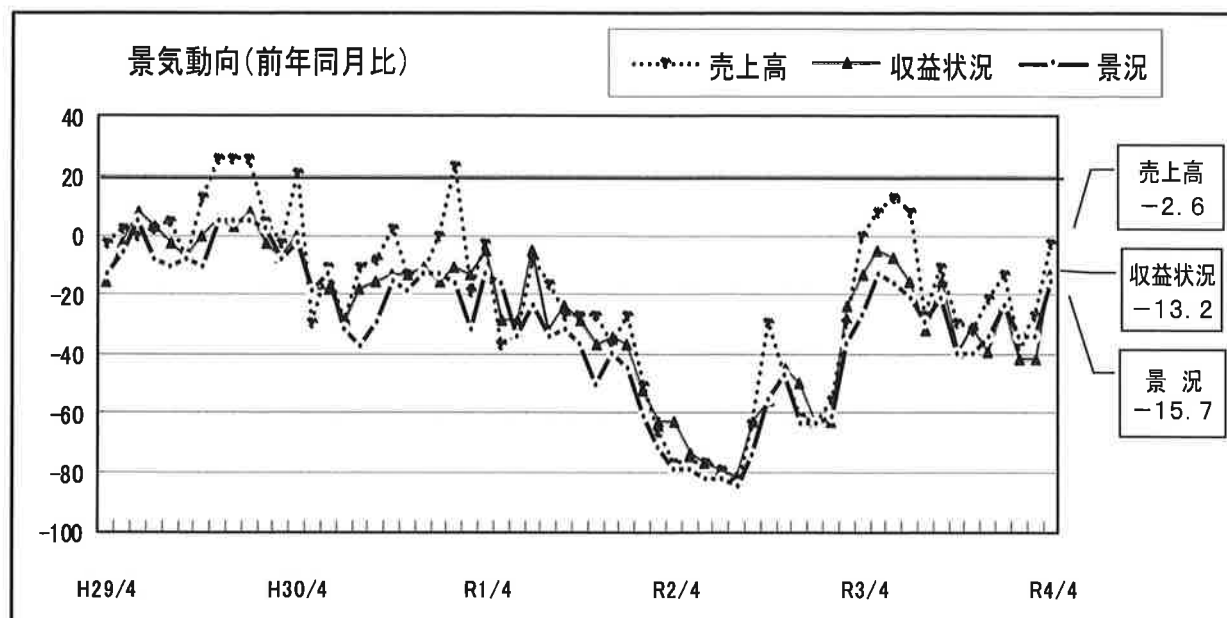
一方、4月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月4件）、負債総額は8,000万円（前月4億5000万円）、業種は卸売業、主因別は販売不振となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報2月分」）

鳥取県の3月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.49倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.22倍）で、前月より0.03ポイント上昇。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.38倍、米子所1.48倍、倉吉所1.73倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.69倍（季節調整値）で、前月より0.08ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比7.2%増加し、有効求人数は11.5%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、製造業（59.8%）、運輸業・郵便業（35.8%）、卸売業・小売業（8.7%）、医療・福祉（6.8%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比7.8%減少し、有効求職者数は前年同月比2.8%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.42倍で、前年同月を0.11ポイント上回った。新規求人数は前年同月を8.3%上回った。



4月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	5.3%	42.1%	-36.8 -57.8	47.4%	36.8%	10.6 -42.0	26.3%	39.5%	-13.2 -52.6
(2) 在庫数量	10.5%	10.5%	0.0 -10.3	8.3%	16.7%	8.4 -16.6	9.7%	12.9%	-3.2 -19.4
(3) 販売価格	15.8%	0.0%	15.8 0.0	21.1%	5.3%	15.8 5.3	18.4%	2.6%	15.8 2.6
(4) 取引条件	0.0%	15.8%	-15.8 -10.5	5.3%	0.0%	5.3 5.3	2.6%	7.9%	-5.3 -2.7
(5) 収益状況	0.0%	42.1%	-42.1 -26.3	31.6%	36.8%	-5.2 -63.1	15.8%	39.5%	-23.7 29.0
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	2.6%	10.5%	-7.9 26.0
(7) 設備操業度	5.3%	21.1%	-15.8 -21.1						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	15.8%	0.0%	15.8 10.6	7.9%	5.3%	2.6 0.0
(9) 景 況	5.3%	31.6%	-26.3 -5.3	15.8%	31.6%	-15.8 -5.3	10.5%	31.6%	-21.1 -5.4

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	10.5%	42.1%	-31.6 0.0	52.6%	26.3%	26.3 47.4	31.6%	34.2%	-2.6 23.7
(2) 在庫数量	10.5%	15.8%	-5.3 -10.6	25.0%	8.3%	16.7 25.1	16.1%	12.9%	3.2 3.2
(3) 販売価格	21.1%	0.0%	21.1 -5.2	31.6%	0.0%	31.6 10.6	26.3%	0.0%	26.3 2.6
(4) 取引条件	0.0%	21.1%	-21.1 -15.9	5.3%	0.0%	5.3 10.6	2.6%	10.5%	-7.9 -2.6
(5) 収益状況	0.0%	42.1%	-42.1 5.3	36.8%	21.1%	15.7 52.6	18.4%	31.6%	-13.2 28.9
(6) 資金繰り	0.0%	15.8%	-15.8 5.8	15.8%	15.8%	0.0 26.3	7.9%	15.8%	-7.9 15.8
(7) 設備操業度	0.0%	21.1%	-21.1 -0.1						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	21.1%	10.5%	10.6 26.4	10.5%	10.5%	0.0 10.6
(9) 景 況	5.3%	26.3%	-21.0 10.5	21.1%	31.6%	-10.5 26.4	13.2%	28.9%	-15.7 18.5

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原料（小麦粉、油脂類）や光熱費（LP ガス、電気等）の大幅な値上がりにより収益が圧迫されている。販売価格の一部値上げを行ったが、売上が伴わず、経営環境は厳しい。

醤 油⇒ オミクロン株の拡大による影響で出荷がなかなか伸長しない。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 中国・上海のロックダウンの影響もあり、国内需要がさらに高まっている。大型連休明けは例年閑散期となるが、今年は国内生産のキャパが不足している。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向。

ニット製品⇒ ニット製品は、中国のゼロコロナ政策による影響により、輸入動向も含めて予測がつかない状況であり納期、価格等不透明。防護服特需の国内生産動向に注視している。

【家具装備品】

⇒ 原材料、輸送コスト等の高騰により、仕入価格が上昇している。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で大きく増加。合板の生産量も前月比で増加。製材品の動きは少し落ち着いてきた感があるが、原木価格は依然として高い。合板は引き続き不足感があり、高値が続いている。プレカット加工の稼働率は、前月比で20%減少、前年同月比で35%減少。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 4月受注分から商品の値上げを実施した。値上げ幅については、事業所ごとの実情によって異なるが、おおむね取引先の理解を得ることができた。需要の低迷している中、売上のさらなる減少が危惧されるが、原材料・諸経費が高騰しているため、苦渋の決断である。

【印 刷】

⇒ イベント等が中止や延期はなく通常通り開催されるよう進行しており、売上回復が見込まれる。6月から紙とインクの値上げがあるため、業界には危機感が広がっている。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 4月の生コン出荷量は、前月比17%増加、前年同月比1.2%増加。全体的に受注残がなく低調。各メーカーのセメントの値上げが、1月以降2,000円～2,400円/トンの動きとなり、さらに軽油の値上がりでダンプの運賃値上げとミキサー車による大幅な輸送コスト上昇で、生コン販売価格の検討が急務となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、地元物件が少なく、県外物件の受注によるところが大きい。機械加工は、自動機・工作機械関連を中心に、受注は増加傾向だが、半導体不足に加え、アジアの新型コロナ感染拡大により部品供給の確保が難しく、納期に影響が出ている。また、鋼材価格は、高値推移からさらなる値上げの動きが強まっており、収益圧迫と需要の停滞が危惧されている。

鉄骨加工⇒ 電炉メーカーの東京製鐵は5月の契約よりプラス3,000円/トンと発表し、4月からの2か月間でプラス10,000円/トンの価格上昇となった。高炉メーカーも7月から線材価格をプラス35,000円/トンと追加値上げを発表し、業況に大きな影響を与えている。

金属熱処理⇒ 4月の受注状況は、先月比で不変。今年に入って若干持ち直していたが一服感がみられる。前年同月比では受注金額としては減少であった自動車関係とエネルギー関係の受注が再度上昇傾向となった。エネルギー関係は今後も当面は受注を確保している。比較的調子の良い建設機械においては不安定であるとの情報も入ってきており、顧客により格差もあり景気が上向いていると言いはし難い。地域の業界情報では、自動車の回復が未だに不十分であるため、全般に景気回復は政府の発表ほどには目立った動きはない。

【電気機械器具】

⇒ 部材調達の影響が深刻化している。外国人技能実習生等の入国許可を受け生産体制は順次回復傾向にあるが、オミクロン株感染拡大の影響で不安が残る。受注は回復傾向にあるが部材入荷次第で、入荷なければ休業、入れば残業で計画生産どころではない。

非 製 造 業

【卸 売 業】

東 部 地 区⇒ 青果関係では、野菜、果実ともに収穫の狭間で生産者の持ち込みが減少したことにより、売上高は前月比で減少、前年同月比でほぼ横ばい。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比でともに減少。依然として厳しい状況。

中 部 地 区⇒ 事務機器業界の需要は上向いてきたが、4月より仕入価格が上昇したことで、需要の低下が懸念される。また、半導体不足による納期未定の状態が続いている。

西 部 地 区⇒ 新型コロナ感染防止対策等により一部で売上低下の動きが見受けられるが、徐々に回復の兆候も見られる。また、一部でウッドショックの影響が見受けられる。半導体不足の状況が続いており、電化製品、PC等の物流への影響が懸念される。

水 産 物⇒ 巻き網漁は前月から続くイワシの水揚げにサバも加わり1,000tを越える大漁日もあって活気づく浜となった。決算年度もかわり国内缶

詰原料及び輸出向けの冷凍魚の動きも散見される。紅ズワイガニは昨年のコロナ禍で低迷した状況と異なり目論見と漁期も終盤になってくることから昨対の125%近い浜値高で推移した。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、4月の荷動きが低調であったため、需要量に対して出荷量が不足する状況が続いているが、大型連休に向けた在庫積み増しを図ったことで堅調な推移をみせた。古紙は前月比で不変。非鉄市況は資源高による高値が続いた。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、新入学、就職、転勤等で人の動きも多く、消費支出も増えたが、4月に入り少し落ち着いている。飲食は相変わらずで、夜は宴会が全くなく、ランチもまだ戻っていない。月末の大型連休初日は、人出も増え、動きが出てきたが、月末は元に戻った。また、様々なものの仕入価格が上がり、結果販売価格も上昇するなか、消費マインドはさらに下がり、節約志向がより顕著になっている。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、卒業・入学シーズンである4月は少しでも人流が良くなるのではと期待をしたが、期待に反する結果となった。倉吉博物館で開催されている「ホキ美術館名品展」に訪れる人が打吹公園の賑わいを創出したが、街への回遊はそれほどでもなかった。白壁土蔵群も観光バスが来ないとなかなか賑わいを創出するまでにはいかない。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、新店舗が複数オープンし、連日賑わいを見せている。4月は「サンロードマーケット」を開催したが、天候が悪く集客が振るわなかった。同30日に開催された飲食イベントでは、天候に恵まれ賑わいを見せた。

境港市の水産物小売では、「境港水産物直売センター」のリニューアルオープンをきっかけに、大型連休に突入したこともあり期間中は大勢の来場者で賑わいを見せた。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、観光客は増加傾向で推移、大型連休前半も好調であったことから、売上高は前月比、前年同月比ともに増加し景気は好転しつつある。

米子市のホテル・旅館では、新型コロナ新規感染者数の高止まりの影響もあり日帰客、宿泊客ともに減少し、前月比で売上高も減少し、収益状況も悪化した。前年同月比では宿泊客数の増加により売上高は増加、収益状況も好転した。業界全体では、原材料の価格高騰もあり業況は極めて厳しい。

三朝温泉では、売上高は、前月比で減少、前年同月比で増加。各種キャンペーンの拡大が待たれる。

羽合温泉では、売上高は、まん延防止等重点措置の解除もあり前月比、前年同月比ともに増加。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数は半導体不足の影響もあり普通車、軽自動車合わせ

て1,760台で前月比が45%減少、前年同月比は17%減少。継続検査台数（軽自動車を含む）は14,270台で前月比が40%減少、前年同月比は6%減少。中古車（軽自動車を含む）は851台で前月比が2%減少、前年同月比は11%減少となった。新年度になり業務量全体は大幅な減少となったが、軽自動車の中古車は対前月比40%の大幅な増加となっている。

【建設業】

⇒ 3月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額71億円（前年同月比20%減）、件数140件（前年同月比15%増）で、年度累計（令和3年4月～令和4年3月）は、請負金額966億円（前年同月比6%減）、件数1,749件（同2%減）となった。単月で前年比マイナス、年度累計のマイナス幅もやや拡大。設備投資は、単月は前年比マイナスも、3カ月平均はプラスが続き、住宅建設も単月は前年比マイナスも、3カ月平均は前年比プラスが続いた。建設資材や燃料の急激な価格上昇に対する価格転嫁の遅れに加え、設備機器の納期遅れ・欠品に伴う工期長期化によるコスト増の影響により収益への圧迫が続いている。

3月の鳥取県新設住宅着工戸数は272戸（持家153戸、貸家119戸）で、前月比39%増加、前年同月比1%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 4月の荷動きは、製造業等の出荷量は生産調整もあり低調。復路荷物の荷動きも低調に推移しており、空車で帰る非効率な運行が続いている。依然として燃料価格が上昇しており経営を圧迫し厳しい状況。

西部地区⇒ 当初、2022年の第二四半期には解消されるとみられていた半導体供給不足はこのところの世界的な半導体の需要増、コロナ禍による生産への影響を考えると2022年も断続的に半導体不足が続くと考えられる。トラックの新車納入も1年待ちの状態であるなど依然として影響は大きい。4月の物流では関西圏において帰路荷物中心に先月同様落ち込んでいる。原油価格は相変わらず、高値安定のまま展開している。原油高における運賃値上げ交渉もはかどらず、景況は厳しい。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・電気、ガスをはじめエネルギー関係や資材の値上がり幅が大きく価格転嫁できないため対策を検討してほしい。【金属熱処理業】
- ・雇用調整助成金の期間延長を望む。【電子部品製造業】
- ・経営維持のための抜本的な施策を検討してほしい。【旅館業】
- ・即効性のある、大胆な経済政策を打ち出してほしい。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
売 上 高	製 造 業	-26.3	-31.5	-5.3	10.5	-36.8	15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-10.5	5.3	26.3	-36.8	-10.5
	非製造業	0.0	-10.5	-5.2	10.5	-5.3	0.0	15.8	15.8	-5.3	-63.1	-31.6	52.6	10.6	10.6
	全 業 種	-13.1	-21.1	-5.3	10.5	-21.1	7.9	0.0	5.3	-7.9	-36.8	-13.2	39.4	-13.2	-0.1
在庫数量	製 造 業	10.6	5.3	15.8	10.5	-5.2	5.3	10.5	10.5	10.6	15.8	5.2	10.3	0.0	-10.6
	非製造業	8.3	0.0	16.7	-8.4	8.4	-8.4	0.0	-8.4	8.4	16.7	-8.3	25.0	8.4	0.1
	全 業 種	9.7	3.2	16.1	3.2	0.0	0.0	6.4	0.0	9.7	16.1	0.0	16.2	-3.2	-12.9
販売価格	製 造 業	21.1	10.5	15.8	15.8	21.1	15.8	10.5	15.8	10.5	-15.8	10.5	15.8	15.8	-5.3
	非製造業	-10.5	10.5	-10.5	0.0	-5.3	0.0	5.3	10.6	5.3	10.5	-10.5	10.5	15.8	26.3
	全 業 種	5.3	10.6	2.6	7.9	7.9	7.9	7.9	13.1	7.9	13.2	0.0	13.2	15.8	10.5
取引条件	製 造 業	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-15.8	-26.3
	非製造業	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	5.3	15.8
	全 業 種	0.0	2.7	-2.7	-5.3	-5.3	-7.9	-10.5	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-2.6	-5.3	-5.3
収益状況	製 造 業	-26.3	-16.8	-31.5	-15.8	-15.8	-5.2	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-15.8	-15.8	-42.1	-15.8
	非製造業	-20.9	-42.1	-21.0	-21.0	-21.0	-10.5	-10.5	21.0	-21.0	-63.2	-31.6	26.3	-5.2	15.7
	全 業 種	-23.7	-28.9	-26.3	-18.4	-18.4	-7.9	-13.1	2.6	-18.4	-42.1	-23.7	5.3	-23.7	0.0
資金繰り	製 造 業	10.2	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-15.8	-10.5	-10.5	-20.7
	非製造業	-15.8	-36.8	-26.3	-10.5	-26.3	-26.3	-21.0	-5.3	-26.3	-42.1	-31.5	-10.5	-5.2	10.6
	全 業 種	-5.3	-23.7	-13.1	-7.9	-18.5	-18.5	-15.8	-7.9	-18.4	-31.6	-23.7	-10.5	-7.9	-2.6
設備操業度	製 造 業	-5.3	-15.8	-5.3	5.3	-26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-15.8	-10.5
雇用人員	製 造 業	5.2	-5.2	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-10.5	-5.3	0.0	-10.5	-15.7
	非製造業	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	-5.2	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-21.1	-15.8	5.2	15.8	26.3
	全 業 種	-2.6	-7.9	-5.3	0.0	-2.7	-5.2	-2.7	2.7	5.4	-15.8	-10.6	2.6	2.6	5.2
景 況	製 造 業	-26.3	-10.6	-15.8	-10.6	-21.0	0.0	-10.6	-10.6	-5.3	-15.8	-15.8	-21.0	-26.3	0.0
	非製造業	-36.8	-47.3	-31.5	-36.8	-36.8	-42.1	-21.0	-10.5	-26.3	-63.2	-52.6	-10.5	-15.8	21.0
	全 業 種	-31.5	-28.9	-23.6	-23.7	-28.9	-21.0	-15.7	-10.5	-15.8	-39.5	-34.2	-15.7	-21.1	10.4

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との 増減幅
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
売上高	製造業	-10.5	5.2	0.0	0.0	-31.6	15.7	-21.0	-5.3	-5.2	0.0	-21.0	-31.6	-31.6	-21.1
	非製造業	10.5	10.6	26.3	15.8	-21.1	-36.8	-26.8	-57.9	-36.8	-26.3	-52.6	-21.1	26.3	15.8
	全業種	0.0	7.9	13.2	7.9	-26.3	-10.6	-29.0	-31.6	-21.1	-13.2	-36.8	-26.3	-2.6	-2.6
在庫数量	製造業	10.6	10.5	10.5	5.3	-15.8	5.3	5.2	0.0	5.3	10.5	5.2	5.3	-5.3	-15.9
	非製造業	-8.3	-16.6	0.0	-16.7	8.4	-16.7	-33.4	-16.7	-16.7	-8.3	-25.0	-8.4	16.7	25.0
	全業種	3.3	0.0	6.4	-3.2	-6.4	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	-6.4	0.0	3.2	-0.1
販売価格	製造業	10.5	5.2	21.0	21.0	15.8	26.3	15.8	31.6	26.3	26.3	21.1	26.3	21.1	10.6
	非製造業	-15.8	-15.8	-5.3	-5.3	-15.8	0.0	0.0	0.0	21.1	21.0	10.6	21.0	31.6	47.4
	全業種	-2.6	-5.3	7.9	7.9	0.0	13.2	7.9	15.8	23.6	23.7	15.8	23.7	26.3	28.9
取引条件	製造業	10.5	10.5	10.5	10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.2	-15.8	-15.8	-5.2	-21.1	-31.6
	非製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	5.3	15.8
	全業種	0.0	0.0	0.0	2.6	-10.6	-13.1	-10.6	-7.9	-10.6	-13.2	-13.2	-5.3	-7.9	-7.9
収益状況	製造業	-15.8	-5.2	-10.5	-21.0	-36.8	5.2	-26.3	-26.2	-42.1	-26.3	-31.5	-47.4	-42.1	-26.3
	非製造業	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-26.3	-36.8	-52.6	-36.8	-57.9	-21.1	-52.6	-36.9	15.7	26.2
	全業種	-13.1	-5.3	-7.9	-15.8	-31.6	-15.8	-39.4	-31.5	-39.5	-23.7	-42.1	-42.1	-13.2	-0.1
資金繰り	製造業	-15.8	-26.3	-15.8	-21.1	-26.3	-15.8	-21.1	-21.0	-15.8	-21.1	-21.1	-21.1	-15.8	0.0
	非製造業	-10.5	-31.5	-36.8	-26.3	-36.8	-47.3	-47.3	-31.5	-31.5	-21.0	-31.5	-26.3	0.0	10.5
	全業種	-13.1	-2.9	-26.3	-23.6	-31.6	-31.5	-34.2	-26.3	-23.6	-21.0	-26.3	-23.7	-7.9	5.2
設備操業度	製造業	-10.5	-15.8	-10.5	-10.6	-31.5	0.0	-15.8	0.0	-5.2	5.3	-10.5	-21.0	-21.1	-10.6
雇用人員	製造業	-5.3	10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-5.3	-5.2	0.0	5.3	-15.8	-10.5	-5.2	-10.5	-5.2
	非製造業	-10.6	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-31.6	-36.8	-26.3	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	10.6	21.2
	全業種	-7.9	-7.9	-10.6	-10.6	-21.1	-18.4	-21.1	-13.1	-5.3	-18.4	-15.8	-10.6	0.0	7.9
景 況	製造業	-21.0	-10.5	-5.2	-15.8	-21.0	-5.3	-31.5	-26.9	-31.6	-15.8	-31.6	-31.5	-21.0	0.0
	非製造業	-31.5	-15.8	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-47.4	-42.1	-36.9	-31.6	-36.8	-36.9	-10.5	21.0
	全業種	-26.3	-13.1	-15.8	-21.0	-29.0	-21.1	-39.5	-39.5	-34.2	-23.6	-34.2	-34.2	-15.7	10.6

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	悪化	不変	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	悪化		
製造業	食料品	0	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	2	1	0	2	
	木材・木製品	0	1	3	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	1	3	0	4	0	0	2	2	0	4	0	2	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	
	化学ゴム																										
製造業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	
	鉄鋼・金属	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	2	0	0	1	
	一般機器	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	3	0	0	3	
	電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
	輸送用機器																										
	その他																										
非製造業	卸売業	19	1	10	8	2	15	2	3	16	0	0	16	3	0	11	8	0	17	2	1	4	0	17	2	1	12
	小売業	100%	5.3%	52.6%	42.1%	10.5%	78.9%	10.5%	15.8%	84.2%	0.0%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%
	商店街		4	1	1	0	4	2	3	3	0	1	5	0	3	3	0	0	6	0			0	6	0	0	6
	サービス業		1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0			1	0	0	1	0
	建設業		1	2	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	1	2	1	0	4	0			0	4	0	1	1
	運輸業		2	0	3				1	3	1	0	5	0	1	1	3	1	3	1			1	4	0	1	2
製造業	建設業		1	0	0			0	1	0	0	1	0	0	0	1	0		1	0			0	1	0	0	1
	運輸業		0	0	2			0	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	1			1	1	0	0	0
	その他																										
	卸売業	19	9	3	7	1	8	2	4	14	1	1	18	0	6	6	7	1	16	2			3	16	0	3	10
	小売業	100%	47.4%	15.8%	36.8%	8.3%	66.7%	16.7%	21.1%	73.7%	5.3%	5.3%	94.7%	0.0%	31.6%	31.6%	36.8%	5.3%	84.2%	10.5%			15.8%	84.2%	0.0%	15.8%	52.6%
	その他	38	10	13	15	3	23	4	7	30	1	1	34	3	6	17	15	1	33	4	1	14	4	3	33	2	4

情報連絡員報告総括表（令和4年4月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	2	1	1	2	
	木材・木製品	0	1	3	0	3	1	1	3	0	0	3	1	0	2	2	0	4	0	0	2	2	0	4	0	0	3	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	
	鉄鋼・金属	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	
	一般機器	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	
	電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
非製造業	輸送用機器																											
	その他																											
	卸売業	2	9	8	2	14	3	4	15	0	0	15	4	0	11	8	0	16	3	0	15	4	0	17	2	1	13	
	小売業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
	商店街	2	2	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	2	2	0	0	4	0	0	0	0	3	1	0	2	2	
	サービス業	4	0	1				2	3	0	0	5	0	3	1	1	2	2	1	0	0	2	3	0	2	2	1	
	建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1		0	0	1	0	0	1	
	運輸業	0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1			1	1	0	0	0	2	
	その他																											
	19	10	4	5	3	7	1	6	13	0	1	18	0	7	8	4	3	13	3			4	13	2	4	9	6	
100%	52.6%	21.1%	26.3%	25.0%	58.3%	8.3%	31.6%	68.4%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	36.8%	42.1%	21.1%	15.8%	68.4%	15.8%			21.1%	68.4%	10.5%	21.1%	47.4%	31.6%		
38	12	13	13	5	21	4	10	28	0	1	33	4	7	19	12	3	29	6	0	15	4	4	30	4	5	22		
100%	31.6%	34.2%	34.2%	16.1%	67.7%	12.9%	26.3%	73.7%	0.0%	2.6%	86.8%	10.5%	18.4%	50.0%	31.6%	7.9%	76.3%	15.8%	0.0%	78.9%	21.1%	10.5%	78.9%	10.5%	13.2%	57.9%	28.9%	